



高校でBYODの研究

昨年に引き続き、高校の方では、BYODの研究を行います。BYODとはBring Your Own Deviceの略で、個人所有のスマホ等のデジタルデバイスを授業等に活用する。ということです。沖縄県立総合教育センターと協力して、検証を進めていくことになっております。国が進めている「GIGAスクール構想」において、ICT教育で次世代の人材を育てる必要があることから、一人一台の端末環境に取り組みはじめており、これらを持続的に実現させる構想がGIGAスクール構想です。

本研究では、個人所有のスマホ等を利用しますが、校内では、Wi-Fiが利用できるため、個人の通信量を消費することなく利用できます。その際学校の通信回線を利用するため、無線LANを利用するための規定を定めていますので、それに従うことを前提で利用できます。

保護者におかれましては、ご理解とご協力をお願いします。

また、現在利用している「スタディーサプリ」の活用についても検証していきます。コロナ禍での取組で、ICTの活用が増えました。これを機に高い次元での利用が進むと良いですね。



※ GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。

PTA高3保護者対象奨学金説明会

4月21日(水)に高校3年生の保護者対象の奨学金説明会が18:00から本稿で開催されました。昨年は、コロナの影響でオンラインでの開催でしたが、今年は、集合研修の形で行われました。

全国の高校や大学のオープンキャンパス、進学相談会などで、保護者対象の講演活動を行っている、久米忠史氏を招聘しての説明会でした。

奨学金は、貸与制と給付制があります。世界と比較すると日本はまだまだ、貸与型が多く、もっと給付型の奨学金制度が増えてくれると嬉しいです。

この3、4年で奨学金の種類が増え、給付型も増えましたが、その額では授業料や生活費に回せるほどではなく、やはり貸与制の奨学金が重要になってきます。

せっかく東京大学に入学しそれなりの就職も決まったが、奨学金の返済地獄に陥っている人もいますようで・・・。

どうにかならないものでしょうか。



探究学習と協働学習

「探究学習」とは、与えられた課題に対して、情報収集、情報の整理・分析、結論のまとめとプレゼンテーションを自ら主体的に行うことで、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力などを養う学習方法のことです。文部科学省では、探究学習を「自ら学び自ら考える力の育成」と定義し、従来の習得型の学習と合わせて、総合的な育成が必要である、としています。

近い将来我が国は「超スマート時代」へと移り変わっていきます。膨大なビッグデータを人間の能力を超えたAIが解析し、その結果がロボットなどを通して人間にフィードバックされることで、これまでは出来なかった新たな価値が産業や社会にもたらされることとなります。このような社会を生き抜く力として「思考力・表現力・判断力等」が必要になってきます。「知識・技能」をどのように活用するか。答えのない課題に対し、どのように向き合っていくか。この「探究学習」で身に付ける力は、きっと社会で役立つことでしょう。

そして、その課題は、決して一人で解決していくのではなく、チームで、仲間で、協働で立ち向かう事が重要である。

協働学習とは、グループで問題解決に取り組む学習方法で、文部科学省は「子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び」と定義している。アクティブラーニングを実現する手法の1つとして注目されており、タブレット端末や電子黒板などの活用によって、より効果的かつ広範な学習の実現が期待される。

アドラー心理学

いつも愚痴を言ったり腹を立てているあなたへ
「アドラーからの警告」

健全な人は、相手を変えようとせず自分が変わる。
不健全な人は、相手を操作し、変えようとする。



上司や部下、配偶者などに非があったとしても「今、自分にできること」だけを見ればいい。もしも相手に気づいてほしいことがあるならば、気づかない相手を責めるのではなく、自分の伝え方を変えるのです。自分の言葉が説得力を持つように、相手から信頼される努力をすべきなのです。

健全な人は、たとえ100%他人が悪い、と思えるような状況でも、「今、自分にできること」だけを見てエネルギーを注ぎ込みます。不健全な人は過去を愚痴り、他人の悪口を言い、自分が被害者だと訴えて同情を求め、自らは何も行動を起こしません。どちらの人生が幸福になるか。言わずもがなではないでしょうか。